

【オリコンサル 白浜花火大会の渋滞解消で効果】

白浜花火大会の 渋滞解消で効果

オリコンサル

リアルタイムでの交通情報の提供と、きめ細やかな対応で渋滞解消。オリエンタルコンサルタンツは、和歌山県白浜町、南紀白浜エアポートと連携・協働した「8月18日白浜花火大会」における渋滞対策の実施結果を明らかにした。7月30日に開かれた花火フェスティバルのほぼ5割増

となる約13万人の来場者が訪れたが、同町への来訪時の交通状況では顕著な渋滞は見られず、南紀白浜空港の旧滑走路を活用した臨時駐車場の利用者も大幅に増加しながら入出庫に伴う混乱や渋滞もなかった。帰宅交通による渋滞が一時発生したものの、昨年度に比べて短時間で解消しており、一定以上の効果を上げたと見えそうだ。

3者は今夏の海水浴や花火シーズンでの交通渋滞対策実施について7月1日に覚書を締結し、「渋滞ゼロに向けた大作戦」を展開。最大の眼目と言える今回の花火大会では、7月の花火フェスで明らかになった課題も踏まえて対策を実施した。特に白浜観光協会ホームページでの道路情報提供（ライブカメラ）では、アクセスが集中する課題に対してシステムを改善・増強。交通状況を常にリアルタイムに把握できることが来訪時での

つながった。花火フェス時の倍近い利用台数（約1200台）となった旧滑走路臨時駐車場でも熟練した交通誘導員を配置し、駐在時間も拡大するとともに、電光掲示板での情報提供をより分かりやすいメッセージに修正、表示方式を変更したこともスムーズな入出庫に奏功した。

今回の対策結果の詳細については、7月30日の対策結果とあわせて整理した上で別途公表する予定だ。